

Staff Development

第1回SDセミナー

なぜ今、SDが必要なのか？

2008 **12/19** 金
14:00 ~ 19:30

難波御堂筋ホール HALL7 (交流会 HALL8A)
地下鉄御堂筋線なんば駅の真上 (13番出口直結)
大阪市中央区難波4丁目 TEL: 0120-010-443



平成20年度 文部科学省 戦略的大学連携支援事業認定プロジェクト
実践力のある地域人材の輩出～大学連携キャリアセンターを核にして～
桃山学院大学・大阪府立大学・大阪大谷大学・帝塚山学院大学・羽衣国際大学・プール学院大学

大学連携取組事務局 TEL: 072-258-7646 FAX: 072-258-7641 MAIL: renkei@osaka-unicon.org
〒591-8025 堺市北区長曽根町130-42 さかい新事業創造センター1F
南大阪地域大学コンソーシアム事務局内

第1回SDセミナー

なぜ今、SDが必要なのか？

国公立を問わず多くの大学が生き残りをかけて、大学改革に取り組んでいます。これまではFDに関する取り組みが注目されてきました。しかし、大学運営のもう一つの柱である職員が大学職員としての専門性を高め、自己改革することの重要性が改めて認識されています。各大学が個別に生き残りを図りつつ、大学連携によって可能となる“南大阪”の優位性を6大学で共有して支援し合える体制を築くために、大学単独では実施し難い“SDセミナーの共有”を企画しました。また、交流会では、共通の問題ごとにテーブルを設定し、組織の垣根を越えて議論ができるような工夫をしております。腹を割って問題点を出し合い、隣人の知恵を借ります。二度とない貴重な機会です。万障繰り合わせのうえ、ぜひご参加ください。

2008

12/19 

14:00～19:30

難波御堂筋ホール HALL7
(交流会 HALL8A)

地下鉄御堂筋線なんば駅の真上(13番出口直結)
大阪市中央区難波4丁目 TEL:0120-010-443

対象者

連携6大学の学長以下、全ての教職員 200名程度

[桃山学院大学・大阪府立大学・大阪大谷大学・帝塚山学院大学・羽衣国際大学・プール学院大学]
南大阪地域大学コンソーシアム会員大学の教職員

14:00～14:05 開会挨拶 笠井 高芳 (大阪大谷大学学長)

14:05～15:25 <講演1>



SDをする理由とSDの到達点

(有)ユニバーシティ・アクティブ
代表取締役社長

大江 淳良 氏

(株)リクルートを経て、現職。
専門はキャリア開発支援。
文部科学省/特色ある大学教育支援プログラム審査委員
(2003～2006)、桜美林大学講師(2008～)、IDE理事
(2008.7～)などを務める。その他講演多数。

15:35～16:55 <講演2>



SDの進め方

大学行政管理学会会長
横田 利久 氏

1974年、中央大学に事務職員として入職。
現在、中央大学総合企画本部担当部長、法人系属・合併協議
会運営室兼務。
広島大学高等教育研究開発センター客員研究員(2004.4～
2008.3)、日本私立大学連盟研修委員兼業務創造研修運営
委員会委員長(2005.11～)などを務める。

17:05～17:55 座談会 司会進行 大倉 孝昭 (大阪大谷大学教授)

18:00～19:30 交流会 会費1,500円

【申込・問合せ先】大学連携取組事務局

TEL:072-258-7646 FAX:072-258-7641 MAIL:renkei@osaka-unicon.org
〒591-8025 堺市北区長曾根町130-42 さかい新事業創造センター1F
南大阪地域大学コンソーシアム事務局内

主催:桃山学院大学・大阪府立大学・大阪大谷大学・帝塚山学院大学・羽衣国際大学・プール学院大学
協力:特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム

eラーニング用に
それぞれDVD化されます
●講演1
●講演2
●座談会